

4.計画の構成

本計 課題の整理

守る緑

楽寿園や三嶋大社などの代表的な緑や、文教地区のイチヨウ並木、国立遺伝学研究所の桜並木のようなシンボリックな街路樹など、特徴的な緑の資源が豊富なことから、こうした緑の保全や、湧水を中心とした水辺の緑の保全が求められます。また、森林の荒廃なども懸念されることから、これらへの対応も求められます。

『市内に残されている貴重な緑と水の保全』

つくる緑

歴史的な緑と水に関わる資源は豊富である一方で、近年水量の低下が顕在化しており、かつての豊富な水環境の一体的な復元が求められます。また、中心市街地などでは、日常生活に身近な公園整備の立ち遅れが見られ、防災上の危険性からも、これらへの対応が求められます。さらに、市民の多様なレクリエーションニーズへの対応や、本市の「顔」となる新たな緑づくりも求められます。

『快適な生活を営むうえで不足している緑の創出』

活用する緑

市内には、歴史を感じさせる緑の資源が多く点在しますが、緑の資源を更に活かすため、これらの結びつきを高めていく必要があり、相互のネットワークの充実などが求められます。また、里山の緑は、身近な自然にふれる緑として重要な資源であり、こうした緑を効果的に活用する方策の検討が求められます。

『点在する緑の資源を河川や道路でつなぐ方策の検討』

計画を実現させるためのシステムづくり

近年、街中がせせらぎ事業等による整備も進み、市民の参加による緑づくりが展開されてきていますが、前に示す3つの課題に整理したように多様な課題があることから、本市の緑の保全・創出・活用にあっては、既存資源の維持管理や、市街地の一層の緑化が重要であり、市民及び事業者による緑化の取り組みへの支援強化や、行政と一体となった緑づくりの体制検討が求められます。

『緑の保全・創出・活用を推進するためのシステムづくり』

緑の目標と基本方針

《緑の将来像》

三島市緑の基本計画では、「緑と水が織りなす環境先進都市・三民・事業者・行政が協働して、様々な機能を有する緑を「守り」、により人と自然の健全な関係を構築し、緑と水と人がともに輝きます。

キャッチフレーズ

『緑と水が織りなす環境先進都市・
～人が育む緑と水 自然が育む豊か』

《目標量》

緑地の確保目標

都市計画区域面積に対して概ね53%、市街化区域面積に対

都市公園等の確保目標

都市計画区域において1人当たり約21㎡、市街化区域におい

《基本方針》

緑を守る

市内に残る緑や水・歴史に関する緑を、今後も本市の特徴的な緑と水の資源として保全・保存するとともに、適正に管理します。また本市の約40%を占める森林についても適正な管理や積極的な育林を進め、健全な森の緑の回復、再生を図ります。

緑をつくる

市民の日常的なレクリエーション利用や防災上の観点から、必要なオープンスペースの確保や、市民の生活に安全と潤いを与える身近な公園の適正な配置を進めるとともに、多様な取り組みによる市街地緑化の充実や湧水の復元を進めます。

緑を活かす

緑や水の資源の結び付きを強め、ネットワーク化を強化するなど、より一層の緑の活用を図ります。また、箱根西麓の森林についても、市民の自然体験学習、多様なレクリエーション活動の場として有効に活用します。

協働によるシステムづくり

地域の各種団体やNPO団体等とのパートナーシップの形成に向け、市民参画のできる仕組みづくりを進めます。

緑の推進方策

〈地区別の緑の方針〉

概ねの生活圏（7地区設定）ごとに緑の保全や緑づくりを展開していきます。

〈計画の推進に向けて〉

「協働」による取り組み
市民の積極的な参画やボランティア、NPO団体等の活動充実が求められます。
事業者の地域貢献や事業者相互の協力などの取り組みが求められます。
市民、事業者との協働による行政の施策実行とともに、関連する部局との積極的な連携を図ります。

参画のための組織づくり
市民、事業者、行政の相互の連携促進や協議などの場づくりのため「三島市緑化運動推進協議会」の拡充・一元化を進めます。

〈緑化推進重点地区〉

場所：駅南の中心市街地の範囲

地区緑化の目標像
観光客にもアピールできるような、散策を楽しめる緑づくりを進めます。
潜在的な緑と水の資源を活用し、みんなで楽しめる水辺と四季を感じる花とみどりの豊かな空間をつくります。
商店街等の賑わいのある空間と緑づくりを結びつけ、個性的な境界を生み出します。

〈実現のための施策〉

保存樹等の保全 / 河川環境の保全 / 「ふるさとの緑保全基金」の活用

市民緑地制度の導入検討 / 市街地内農地の保全

保安林の保全 / 自然公園の保全 / 風致地区の指定検討 / 里山景観を守る制度の検討 / 育林作業の推進

適正な公園配置 / 大規模な公園の整備 / 箱根西麓等のレクリエーション拠点の整備 / 既存公園の再整備

公共施設の緑化の推進 / ポケットパークや街路樹等の整備 / 地区計画の導入や緑地協定の締結促進 / 民有敷地等の緑化促進 / 生け垣づくり推進事業の促進 / 屋上緑化や壁面緑化の促進 / 生活に身近な緑づくりの普及 / 緑のリサイクルの促進

森の小さなダムづくり / 雨水貯留施設設置の推進 / 雨水浸透マス設置の推進 / 節水コマの普及 / 近隣自治体との連携

河川を活用した歩行者道路の整備 / 河川沿いにおける親水空間の確保 / 橋詰公園の設置

幹線道路を活用した歩行空間の整備 / 歴史的な古道の活用

既存公園等の活用 / 緑と水、緑と道のクラスターと一体となった緑化の促進 / 箱根西麓における緑の拠点形成の充実

森林ボランティア活動の推進 / 里山の野外学習活動・自然体験活動の実施 / 小中学生の環境教育・自然ふれあい活動の推進 / 近隣住民による公園や街路樹の維持・管理 / 市民による緑づくり

開発に伴う緑の創出 / 事業所施設等の緑化 / 事業所内の緑の保全 / 社会参画の促進

緑化イベントの実施による推進 / ガイドブック・ガイドマップの作成 / 市民、事業者、行政の連携のための協議会の一元化 / 緑の人材の発掘と育成 / 緑の情報センターの設置 / 小中学生のボランティア活動への参画促進

島」をキャッチフレーズに市「つくり」、「活かす」ことに活力あるまちの実現を目指し

三島」
な心～

して概ね 11%

て 1人当り約 12㎡

緑を守る

歴史・文化の緑と水の保全
市街地周辺の緑の保全
森林の保全

緑をつくる

地域バランスに配慮した
緑の配置
市街地の緑化推進
湧水の復元

緑を活かす

緑と水のクラスターの形成
緑と道のクラスターの形成
クラスター軸と連携した拠点形成

協働によるシステムづくり

市民参画の推進
事業者参画の推進
協働による推進体制